

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **06012428 A**

(43) Date of publication of application: 21 . 01 . 94

(51) Int. Cl

G06F 15/21  
G07F 7/08

(21) Application number: 03079728

(22) Date of filing: 12 . 04 . 91

(71) Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD EIDENSHIYA:KK CHUBU NATL KUREJITSUTO KK

(72) Inventor: KOBAYASHI NAOYUKI SHIBATA TAKAO KATO TAKESHI

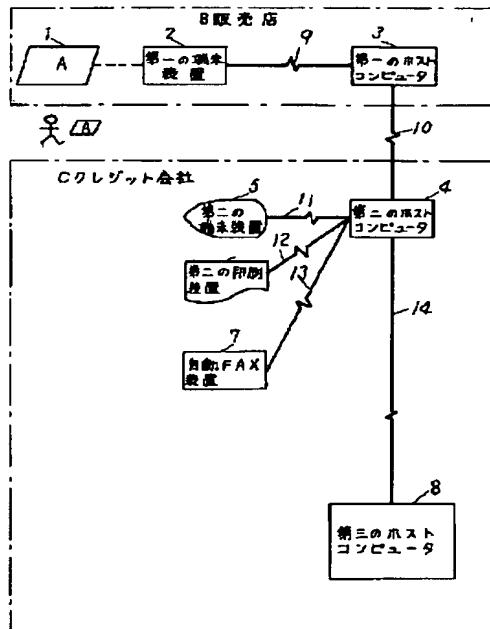
**(54) AUTOMATIC CREDIT PURCHASE APPLICATION INVESTIGATING SYSTEM**

(57) *Abstract:*

**PURPOSE:** To provide the automatic credit purchase application investigating system which decides automatically whether credit purchase is proper or not, and can execute quickly and exactly its decision, at the time of credit purchase application.

**CONSTITUTION:** When information of a membership application from a first terminal equipment 2, or information of a credit purchase application from a second terminal equipment 5 is inputted, a third host computer 8 executes an automatic investigation for calculating the points obtained of an application customer, based on customer information, and transmits its result to a sales store by a facsimile equipment. Also, confirmation of an identification number, confirmation of the data contents, and comparison of the application amount of money and the mount of money set in advance are executed, and a credit purchase slip is outputted from a first terminal equipment 2.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio



(19)日本国特許庁 (JP)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-12428

(43)公開日 平成6年(1994)1月21日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup> G 0 6 F 15/21 G 0 7 F 7/08	識別記号 3 4 0 D 府内整理番号 7052-5L	F I 9256-3E	技術表示箇所 R
---	--------------------------------	----------------	-------------

審査請求 未請求 請求項の数2(全5頁)

(21)出願番号 特願平3-79728	(71)出願人 000005821 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地
(22)出願日 平成3年(1991)4月12日	(71)出願人 591074596 株式会社栄電社 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目22番21号
	(71)出願人 591074600 中部ナショナルクレジット株式会社 愛知県名古屋市東区代官町31番26号
	(72)発明者 小林直行 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器 産業株式会社内
	(74)代理人 弁理士 小鍛治明 最終頁に続く

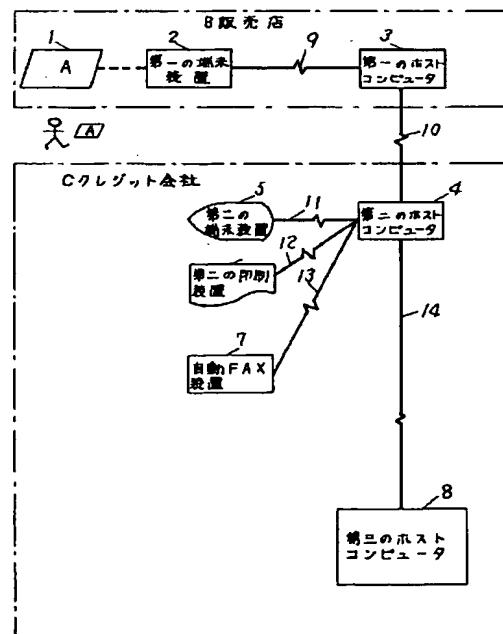
(54)【発明の名称】 クレジット購入申込み自動審査システム

## (57)【要約】

【目的】 クレジット購入申込みの際、そのクレジット購入に適否判断を自動化し、迅速および適確に判断できるようにしたクレジット購入申込み自動審査システムを提供することを目的とする。

【構成】 第一の端末装置2から会員申込み情報または第二の端末装置5からクレジット購入申込みの情報が入力されると、第三のホストコンピュータは顧客情報をもとに申込み顧客の得点計算を行う自動審査を行い、その結果をファクシミリ装置で販売店に送信し、また、暗証番号の確認、データ内容の確認、申込み金額と予め設定されている金額との比較を行い第一の端末装置2からクレジット購入伝票を出力する。

1 --- 第一のデータ伝体



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 第一のホストコンピュータに接続される第一の端末装置と、第一のホストコンピュータからのデータを通信回線を介して送受信する第二のホストコンピュータと、第二のホストコンピュータと通信回線を介して送受信するための第三のホストコンピュータと、第二のホストコンピュータに接続されデータを入力、表示するための第二の端末装置と、第三のホストコンピュータからのデータを出力する第二の印刷装置と、第二のホストコンピュータに接続され、第三のホストコンピュータからのデータをもとに、自動的にファクシミリ送信する装置を備え、前記第二の端末装置からクレジット会員申込み情報を入力し、第二のホストコンピュータ経由で、第三のホストコンピュータに登録し、前記第三のホストコンピュータでは、顧客情報をもとに自動審査を行い、その結果を第二のホストコンピュータ経由で、第二の印刷装置に出力し、この出力された自動審査結果をもとに、第二の端末装置から会員申込み判定結果を入力し、自動ファクシミリ装置より、会員申込み元の販売店へファクシミリ送信するとともに第三のホストコンピュータに登録されていた顧客情報を第二のホストコンピュータ経由で第一のホストコンピュータへ伝送し、顧客情報を自動的に提供するクレジット購入申込み自動審査システム。

【請求項2】 第一のホストコンピュータに接続され、第一のデータ坦体を受け入れる第一の端末装置と、第一のホストコンピュータからのデータを通信回線を介して送受信する第二のホストコンピュータと、第二のホストコンピュータと通信回線を介して送受信するための第三のホストコンピュータとを備え、前記第一の端末装置に第一のデータ坦体のデータを用いてクレジット購入申込み情報の入力を行い、第一のホストコンピュータを通じて、第二のホストコンピュータ経由で、第三のホストコンピュータへ伝送し、第三のホストコンピュータでは、暗証番号による確認データの内容の確認及び申込み金額とあらかじめ設定されている金額との比較を行い、この内容を第三のホストコンピュータから、第二のホストコンピュータ経由で第一のホストコンピュータへ伝送し、第一のホストコンピュータでは、この送られてきたデータを編集し、第一の端末装置からクレジット購入伝票を出力するクレジット購入申込み自動審査システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は流通分野におけるクレジット契約などの場合、その契約可否判断が必要となるが、その際のクレジット購入申込み情報を自動的に審査し、その結果を回答するとともに、同時に販売店に対して顧客情報を自動提供するクレジット購入申込み自動システムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来、販売店でのクレジット契約における後払いによる決済手段を用いる場合、会員申込み顧客の審査判定は、人間により判断されるとともに、顧客情報はクレジット会社で登録され、かつ販売店でも二重に登録していた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしこのような流通分野においては、比較的多額な決済（一般に数千円～数十万円）が行われるため、顧客の審査判定が重要であり、さらには人間が判断しているため誤るケースも多い。また紛失、盗難されたクレジットカードが悪用される場合も多く、犯罪に結びつく危険性が多いという課題を有していた。

【0004】 本発明は上記従来の課題を解決するもので、審査判定の冗長性を排除し、かつ販売店での顧客情報の二重登録を無くすのを第1の目的とする。第2の目的は紛失、盗難にあったクレジットカードでの購入申込みについて、リアルタイムにその有効性を確認することにある。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】 上記第1の目的を達成するための本発明の第1の手段は、第一の端末装置と、第一のホストコンピュータからのデータを通信回線を介して送受信する第二のホストコンピュータと、第二のホストコンピュータと通信回線を介して送受信するための第三のホストコンピュータと、第二のホストコンピュータに接続されデータを入力、表示するための第二の端末装置と、第三のホストコンピュータからのデータを出力する第二の印刷装置と、第二のホストコンピュータに接続され、第三のホストコンピュータからのデータをもとに、自動的にファクシミリ送信する装置を備え、前記第二の端末装置からクレジット会員申込み情報を入力し、第二のホストコンピュータ経由で、第三のホストコンピュータに登録し、前記第三のホストコンピュータでは、顧客情報をもとに自動審査を行い、その結果を第二のホストコンピュータ経由で第二の印刷装置に出力し、この出力された自動審査結果をもとに、第二の端末装置から会員申込み判定結果を入力し、自動ファクシミリ装置より、会員申込み元の販売店へファクシミリ送信するとともに、第三のホストコンピュータに登録されていた顧客情報を第二のホストコンピュータ経由で第一のホストコンピュータへ伝送し、顧客情報を自動的に提供するものである。

【0006】 上記第2の目的を達成するための本発明の第2の手段は、第一のホストコンピュータに接続され、第一のデータ坦体を受け入れる第一の端末装置と、第一のホストコンピュータからのデータを通信回線を介して送受信する第二のホストコンピュータと、第二のホストコンピュータと通信回線を介して送受信するための第三のホストコンピュータとを備え、前記第一の端末装置に

第一のデータ坦体のデータを用いてクレジット購入申込み情報の入力を行い、第一のホストコンピュータを通じて、第二のホストコンピュータ経由で、第三のホストコンピュータへ伝送し、第三のホストコンピュータでは、暗証番号による確認、データの内容の確認及び申込み金額と、あらかじめ設定されている金額との比較を行い、この内容を第三のホストコンピュータから、第二のホストコンピュータ経由で第一のホストコンピュータへ伝送し、第一のホストコンピュータでは、この送られてきたデータを編集し、第一の端末装置からクレジット購入伝票を出力するものである。

【0007】

【作用】上記第1の手段によれば、第二の端末装置からクレジット会員申込み情報を入力すれば、第三のホストコンピュータが顧客情報にもとづいて申込み顧客の得点計算による自動審査を行い、その結果を第二の印刷装置に出力する。この出力された自動審査結果にもとに第二の端末装置から会員申込み判定結果を入力し、自動ファクシミリ装置より会員申込み元の販売店へファクシミリ送信するとともに、第三のホストコンピュータに登録されていた顧客情報を自動的に第一のホストコンピュータに伝送する。

【0008】上記第2の手段によれば、第一の端末装置からクレジット購入申込み情報を第三のホストコンピュータに伝送し、第三のホストコンピュータでは暗証番号による確認、データ内容の確認、申込み金額と予め設定されている金額との比較を行い、この内容を第三のホストコンピュータから第一のホストコンピュータに送信し、第一のホストコンピュータでは送られてきたデータを編集し、第一の端末装置からクレジット購入伝票を出力する。

【0009】

【実施例】本発明の一実施例によるシステムを図1により説明する。

【0010】図において、個人AがB販売店での会員となり、B販売店が発行する第一のデータ坦体1（磁気ストライプ付きクレジットカード）により、クレジット契約による商品の購入をする場合、まず会員申込み情報がCクレジット会社に送られる。Cクレジット会社では第二の端末装置5より、所定の操作で、入会申込み者である個人Aの顧客情報を入力する。このデータは第二のホストコンピュータ4へ送られ、この第二のホストコンピュータ4ではこのデータをさらに第三のホストコンピュータ8にリアルタイムで伝送する。第三のホストコンピュータ8では個人Aの顧客情報を登録するとともに、この条をもとに得点計算する。この結果を第三のコンピュータ8は、第二のホストコンピュータ4を経由してリアルタイムで第二の印刷装置6へ出力する。Cクレジット会社では、この出力された情報をもとに、最終的な会員申込み審査判定結果を第二の端末装置5から入力する。

この入力された判定結果は、第二のホストコンピュータ4を経由して第三のホストコンピュータ8へリアルタイムで転送される。第三のホストコンピュータ8では、このデータを受けて、個人Aの顧客情報を第二のホストコンピュータ4へ伝送する。第二のホストコンピュータ4では、第二のホストコンピュータ4に登録すると同時に、第一のホストコンピュータ3へリアルタイムで伝送する。第一のホストコンピュータ3では、伝送されてきた顧客情報を登録する。

10 【0011】さらに第三のホストコンピュータ8から会員申込み審査判定結果を第二のホストコンピュータ4経由で自動ファクシミリ装置7へ伝送し、さらに自動ファクシミリ装置7からB販売店に対し会員申込み審査判定結果をファクシミリにて連絡する。次に第一のデータ坦体1を第一の端末装置2に挿入し、所定の操作を行にクレジット購入申込み情報を入力する。例えば20万円の商品購入をクレジット契約で行う際には、第一のデータ坦体1であるクレジットカードAを第一の端末装置2（POS）に挿入するとともに20万円の商品購入売上げを入力する。このデータが第一ホストコンピュータ3に伝送され、さらに第二のホストコンピュータ4を経由して第三のホストコンピュータ8に伝送される。第三のホストコンピュータ8では伝送されてきた購入申込みデータの内容チェックを行う。具体的には、まずクレジットカードの有効性の確認を行う。ここで、紛失カード、盗難カードのチェックを行う。次に、購入申込みデータの中の暗証番号と、第三のホストコンピュータ8に登録されている顧客情報上の暗証番号とのチェックを行う。これが違う場合には、申込み否認の結果を第三のホストコンピュータ8から第二のホストコンピュータ4を経由し、第一のホストコンピュータ3に伝送し、さらにPOS2に伝送し、POS2からクレジット購入申込み否認の結果を表示する。暗証番号のチェックが正しい場合は、さらに次のチェックとして、会員申込み審査時に登録した顧客情報の中に、クレジット購入限度金額が設定されており、この金額と、今回申込みのあった金額及び、既に契約されてかつ残高があるものについては、この金額も加味しチェックする。この結果をもとに購入申込み可否判断を行い、可の場合も、否の場合もともに、第三のホストコンピュータ8からリアルタイムで第二のホストコンピュータ4を経由し、第一のホストコンピュータ3に伝送する。さらに第一のホストコンピュータ3からPOS2に伝送し、POS2にクレジット購入申込み可否の結果を表示する。承認の場合にはクレジット購入伝票を出力するとともに、第三のホストコンピュータ8ではクレジット購入申込み情報をクレジット売上情報として登録する。ここでPOS2第一ホストコンピュータ3、第二ホストコンピュータ4、第二の端末装置5、第二の印刷装置6、自動ファクシミリ装置7、第三のホストコンピュータ8のそれぞれの間は、通信回線9、1

0, 11, 12, 13, 14 で結ばれ、これを介するデータの通信はオンラインで、リアルタイム転送であり、瞬時に通信は行われる。しかしながら、第三のホストコンピュータ 8 が装置の故障等の理由により、会員申込み審査、購入申込み可否判断ができない場合は、第二のホストコンピュータ 4 で、「障害中」として購入申込み可否判断のみを行う。すなわち、POS 2、第一のホストコンピュータ 3、第二のホストコンピュータ 4、第二の端末装置 5、第二の印刷装置 6 の構成でシステムを稼働させることができる。

【0012】

【発明の効果】以上のように本発明は、従来会員申込み審査においてクレジット会員申込み情報を第三のホストコンピュータの顧客情報をもとに自動審査するので、会員申込み審査を迅速に行え、また、人間の判断部分を少なくし精度高い審査を行うことができる。また、第三のホストコンピュータは暗証番号による確認、データ内容

の確認、申込み金額と予め設定されている金額との比較を行うので、犯罪にあう危険性を低くし、契約可否判断の時間を短縮することができる。

【図面の簡単な説明】

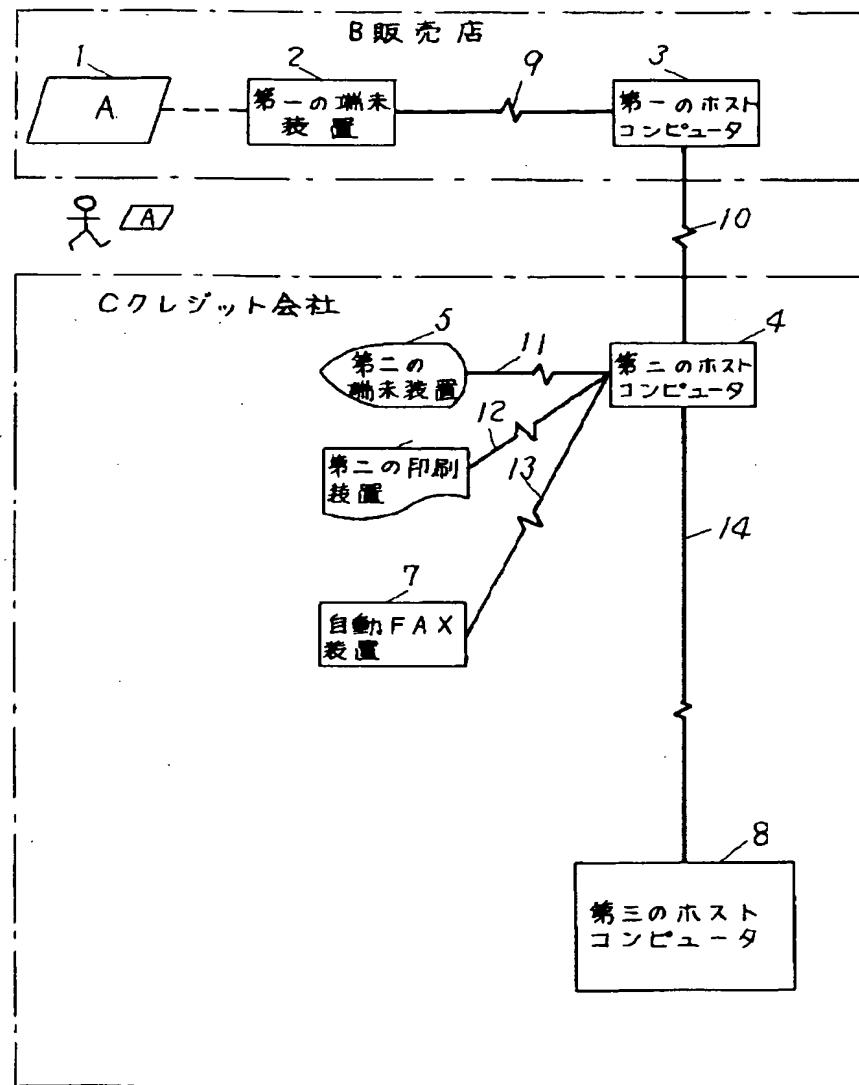
【図1】本発明の一実施例におけるクレジット購入申込み自動審査及びクレジット申込み購入システムのプロック図

【符号の説明】

1	第一のデータ坦体
10	2 第一の端末装置
	3 第一のホストコンピュータ
	4 第二のホストコンピュータ
	5 第二の端末装置
	6 第二の印刷装置
	7 自動FAX装置
	8 第三のホストコンピュータ
	9, 10, 11, 12, 13, 14 通信回路

【図1】

## 1 --- 第一のデータ坦体



フロントページの続き

(72) 発明者 柴田 卓男  
愛知県春日井市白山町8丁目9番4号

(72) 発明者 加藤 健  
愛知県瀬戸市品野町7丁目192の5番地